

教授

Malcolm Ross Swanson

■ 学歴

1. University of Southern Queensland 2002 年

■ 学位

1. 教育学修士

■ 研究分野

1. Active learning
2. AI in the classroom
3. Student-centered learning

■ 研究キーワード

1. Active learning
2. Artificial intelligence
3. Presentations

■ 研究課題

1. Language study through active learning
2. Digitizing language learning

■ 担当授業科目

1. 卒業研究
2. 英語プレゼンテーション I (前期) (A class, B class)
3. 人文学入門 (前期)
4. 英語プロジェクト I (前期)
5. 英語コミュニケーション I (前期) (A class, B class)
6. メディア英語 I (前期)
7. 実用英語コミュニケーション (前期) (福祉学科 A class, B class)
8. 英語プレゼンテーション II (後期)
9. パラグラフ・ライティング (後期)
10. メディア英語 II (後期)
11. 英語コミュニケーション II (後期) (A class, B class)
12. 英会話 II (後期) (観光文化学科 A class, B class)

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	<p>授業科目名【卒業研究】</p> <p>今年は私のゼミにとって非常に忙しい年でした。プロジェクト活動に重点を置いたためです。最大のプロジェクトは、10月に戸畑の旧安川邸で開催されたイベントでした。茶道部と協力し、外国人向けに茶道体験を提供するとともに、建物の英語ガイドツアーを実施しました。イベントには約150人が参加しました。また、カナダ・バンクーバー島大学から30人の学生と教員のグループを招き、北九州市内を案内するほか、キャンパス内で1日間のワークショップを開催しました。このゼミグループは大変成功し、すべての学生がリーダーシップとプロジェクトスキルを学ぶ機会を得ることができました。</p>
2.	<p>授業科目名【パラグラフ・ライティング】</p> <p>作文クラスは、2年生を対象とした目標を十分に達成する非常に成功した授業でした。すべての生徒が異なるスタイルの段落を書く能力を身につけ、学術的な作文の基盤を固めました。また、オンラインツールやAIプログラムを効果的に活用し、作文スキルを向上させる方法も学び、より自立した学習者となるための基盤を築きました。さらに、このコースでは語彙力の強化に重点を置き、生徒がより明確で多様な表現力を身につけることができました。全体として、このクラスはエッセイ執筆の優れた入門コースとなり、学生たちは来年受講するより高度なライティングコースに完全に備えることができました。</p>
3.	<p>授業科目名【英語コミュニケーションI・II】</p> <p>英語コミュニケーションクラスは、学生が流暢さ、発音、語彙を著しく向上させるための、魅力的で支援的な学習環境を提供しました。コースを通じて、生徒は正式な場面と非公式な場面の両方で英語を使用する自信を大きく高めました。グループワーク、プレゼンテーション、クラスディスカッションが効果的に実施され、学生は言語スキルを実践し応用する機会を積極的に得ることができました。これらの経験を通じて、すべての学生が授業にポジティブな評価を寄せ、楽しく効果的な学習体験であり、英語コミュニケーション能力の向上に役立ったと評価しました。</p>
4.	<p>授業科目名【英語プレゼンテーションI】</p> <p>英語プレゼンテーションの授業では、学生が効果的なプレゼンテーションを作成し、発表するための必須のスキルと知識を習得しました。学生は、アイデアを明確かつ論理的に整理する方法を学び、強力なプレゼンテーションの構造を習得しました。また、PowerPoint、Keynote、Google Slides、Canvaなどのツールを使用して、オリジナルでインパクトのあるスライドをデザインする技術も習得しました。指導付きの練習を通じて、視覚的に魅力的で理解しやすいスライドを作成するデザインスキルを向上させました。さらに、研究スキルを強化し、より意味深く根拠のあるコンテンツを開発する能力を養いました。最後に、定期的な練習の機会を通じて、自信を築き、プレゼンテーションの伝達力を向上させました。</p>

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	1996年～現在に至る	全国語学教育学会	<ul style="list-style-type: none"> - 北九州支部プログラム委員長 - 出版物ウェブサイト編集者 - 学会論文集編集者
2.	2005年5月～現在に至る	CALICO	

3.	2020年1月～現在に至る	Moodlemoot	
4.	2015年7月～現在に至る	JASAL	

■ 研究業績等に関する事項（2024年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
（著書）					
1.					
2.					
3.					
（学術論文）					
1.					
2.					
3.					
（翻訳）					
1.					
2.					
3.					
（学会発表）					
1.	2024年4月	Project Work in the Language Classroom	単著	北九州 JALT	このプレゼンテーションでは、教室外でのプロジェクトの活用を英語学習の基盤として取り上げました。
2.	2024年11月	Classroom Assessment	単著	北九州 JALT	GradeScannerを使用した迅速な評価と分析
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

（1）共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外 者	交付決定額 （単位：円）
1.				
2.				
3.				

（2）個人研究

	研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備 考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2024 年度	全国語学教育学会年次国際大会 査読 査読者	委員会
2.	2024 年 3 月	西南女学院高等学校ディベート &スピーチ・コンテスト審査員	キャンベル杯ディベート & スピーチ・コンテスト
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2024 年度	英語学科	学科長
2.	2024 年度	情報システム管理運用委員会	副委員長
3.	2024 年度	英語学科ウェブサイトの管理	
4.	2024 年度	学生個人情報保護委員会	委員長
5.	2024 年度	図書委員	